



JAあつぎ

コミュニティー

Community

発行 厚木市農業協同組合
厚木市水引 2-9-2
☎046(221)1666(代)

<https://www.ja-atsugi.or.jp/>

JAあつぎ 検索



▲JAあつぎ
ホームページ



Instagram



▲JAあつぎ公式



▲農産物直売所
「夢末市」



▲JAあつぎ公式
「ゆめみちゃんねる」



▲農産物直売所
「夢末市」

花のある生活を送ろう♪

あつぎの花で 「花活」はなまる チャレンジ!

はな かつ 花活のススメ

春は花活を始めるのにぴったりの季節♪

「花活」は、本来は「花活(はないけ)…花を生けること」という意味の言葉ですが、今回は「花活(はなかつ)…花に触れる・花のある生活」ということにし、皆さんの身近にあるあつぎの花をご紹介します！ぜひ、好きな花を見つけて、花活を楽しんでください！

あつぎの
花!

JA あつぎ管内で生産される さまざまな“花”を知ろう



農産物直売所「夢末市」
せいだ ようへい
清田 陽平 店長

JAあつぎ管内では、バラやカーネーションなどの切り花、ビオラやシクラメンなどの鉢花が生産され、年間を通してさまざまな花が夢末市・グリーンセンターの売り場を彩っています。地場産花きは輸送に時間がかからないため、より美しさを引き立たせる新鮮さが魅力の一つです。

誰もが一度は手に取ったことのある花は、色や香り、そして愛らしい見た目から人々に癒しを与えるほか、贈る・飾る・鑑賞するなど、楽しむ方法もたくさん。今年の春は、ぜひあつぎの花で「花活」に取り組んでみてください。



JAあつぎ公式YouTube「ゆめみちゃんねる」では、花き生産者や「JAあつぎ食とくらしのマイスター」を訪ね、花活にチャレンジしながらあつぎの花をレポート♪



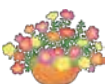
動画は二次元
コードから
読み込んでね!



花束やアレンジメントに
使われる「切り花」



ガーデニングや寄せ植えに
使われる「鉢花」



花を食べる野菜「花菜類」
で春色レシピに挑戦



「花活」に挑戦して
キャンペーンに応募しよう!

詳細は4ページを
チェック!



切り花を知る!

気持ちや癒しを届ける
切り花を身近に

厚木市園芸協会
花き温室部会
カーネーション部会 部長
おおぬき わたる
大貫 亘 さん

■時代を越えて愛される花を消費者へ

昭和29年に戦後の厚木市で初めてカーネーション栽培をスタートさせた父の後を継ぎ、平成6年に就農しました。現在は年間で22品種・約30万本を生産しています。

昭和39年には管内でバラの生産も始まるなど、切り花の施設栽培の技術は60年以上にわたって受け継がれてきました。時代を越えても変わらないのは、人々の門出や祝事などの節目となる場面には必ず花が添えられていること。現在でも、花き温室部会に所属するカーネーション農家2軒・バラ農家3軒を中心とした生産者が、消費者へ新鮮な地場産花きを届けようと生産に励んでいます。

■地場産切り花の魅力を伝え消費拡大に取り組む

新鮮な切り花は美しいだけでなく、花に勢いがあって長持ちしやすいところも魅力。花き温室部会では、市と協力して「フラワーアレンジメント教室」を開き、市民を対象に花に触れる機会を設けながら地場産切り花のPRを行うなど、消費拡大に向けた活動に取り組んでいます。

「フラワーアレンジメント教室」の様子▶



■季節や行事、生活を彩る切り花

管内ではバラ・カーネーションのほか、さまざまな切り花が生産・出荷されています。例えば、冬から春にかけては、蝶のような花がかわいらしいスイートピー。盆や彼岸の時期には、仏花としての需要が高い小菊・アスターなどが直売所に並び、年間を通して季節や行事に合わせた花を購入することができます。花は少し飾るだけでも空間に色を添え、生活に潤いを与えてくれるので、ぜひ好みで花で彩ってみてください。

切り花を長く楽しむためのポイント!

花瓶に生ける前に茎元を数cmほど切り、切り口を新しくする

作業は水中で! 切り口に空気が入り込むのを防ぎ、水の通りが良くなります!

夏は毎日、冬は2日に1回を目安に、水を小まめに替える

水を替える際も、茎元を数mm切って切り口を新しくすると、水をよく吸います!

花を味わう!

花を食べる「花菜類」で
彩り豊かな食を楽しむ

■野菜の分類と「花菜類」について

野菜は、根菜類・葉茎菜類・果菜類など、食べる部分によってグループ分けされています。ブロッコリー・ロマネスコ・ミョウガのように、花や茎、蕾などを食用とする野菜は葉茎菜類に分類されますが、食用菊や食べることができる花「エディブルフラワー」などと合わせて「花菜類」と呼ばれることもあります。花菜類は、鮮やかな色を持つ野菜が多いので、食の彩りにおすすめです。今年の春は、野菜の花を味わいながら、花見を楽しんでみてはいかがでしょうか。

■代表的な花菜類「ナバナ」

春の訪れを告げる「ナバナ」は、特定の植物名ではなく、アブラナ科アブラナ属（ハクサイ・チンゲンサイなど）の花や蕾、若い葉茎を食べる食用品種の総称です。野菜の中でも風邪予防や美肌効果が期待できるビタミンCの含有量が多いほか、葉酸や鉄分などのミネラルも豊富に含んでいます。独特のほろ苦さを生かしたおひたしや、相性の良い油と合わせた炒め物がおすすです。



ナバナの春色オープンいなり



材料2人分

・油揚げ……4枚 ・ご飯……1合 ・塩……適量 ・白いりゴマ……小さじ2 ・桜でんぶ……40g
・ナバナ……1束 ・卵……1個 ・砂糖……小さじ1 ・サラダ油……適量

【煮汁】 ・だし汁……300ml ・しょうゆ……大さじ2 ・みりん……大さじ2 ・砂糖……大さじ4

作り方

- 油揚げは熱湯をかけて油抜きをし、半分に切って袋状に開く。ナバナは沸騰したお湯（分量外）でさっとゆで、一口大に切る。卵は溶いて砂糖を加え、サラダ油を熱したフライパンで炒めて炒り卵にする。
- 鍋に【煮汁】の材料と①の油揚げを入れ、弱火で15分ほど煮たら火を止めて冷ます。
- 温かいご飯に②の煮汁を大さじ1加えて混ぜ、塩・白いりゴマ・桜でんぶを入れて混ぜ合わせ、8等分にして軽く握る。
- ②の汁気を軽くしぼって袋の口を内側に折り込み、③を詰める。
- ご飯の上に①のナバナと炒り卵を飾ったら完成。



■地域に鉢花を届ける生産者の取り組み

鉢物部会では、地域やJAの取り組みに協力し、花苗の提供を通じて地場産鉢花の魅力を伝えています。市が開催する「厚木市緑のまつり」では、約20種類・2,000ポットの花が、シンボルとなる直径4mの花壇を彩ります。組合員組織を対象とした花苗の取りまとめでは、季節によって組み合わせを変えながら、旬の新鮮な花苗を届けています。この他、春にJAの本所や夢末市で行う「苗物即売会」に向け、部会員で分担しながら、毎年約80種類の野菜苗を生産するなど、栽培のノウハウを生かした活動にも取り組んでいます。



▲地場産の鉢花で彩られた「厚木市緑のまつり」のシンボルとなる花壇



▲教育機関への花の寄贈を通じて子どもたちの学びをサポート

鉢花を知る!

暮らしに寄り添う
鉢花を育てよう

■四季折々の鉢花で花のある生活を

平成元年に就農し、年間を通してサイネリアやプリムラ、パンジーなどの鉢花を生産しています。

鉢花の生産者による組織「鉢物部会」が結成された昭和44年頃は、開発による緑の減少や生活様式の変化などから鉢花の需要が増え、園芸ブームと呼ばれていたそうです。花のある生活は人々に根づき、今でも、地域を見渡すと庭や花壇、公共施設、教育施設などの多くの場所で、鉢花が四季を彩る様子をうかがうことができます。近年では、多様化する消費者ニーズに応えようと、生産者同士で情報交換をしながらさまざまな品種の生産に励んでいます。



厚木市園芸協会
花き温室部会
鉢物部会 部長
なかやま まさよし
中山 正義 さん

■種類豊富で楽しみ方もさまざま

管内で生産される鉢花には多くの種類があり、大きさや咲き方などの特徴がそれぞれ異なるので、そのまま飾るのはもちろん、寄せ植えやガーデニングなど、楽しみ方に合わせて選んでみてください。春は、色鮮やかな花をたくさん咲かせるインパチェンスや、光沢のある花弁が美しいガザニアなどがおすすめ。冬に出荷されるシクラメンは贈答用としても人気が高く、毎年12月には、育て方の講習会や生産者による対面販売なども行っています。

花選びに迷ったら寄せ植えがおすすめ!

どの鉢花を選ぶか迷ったときは、寄せ植えがおすすめ! 好きな花や色を組み合わせ、季節の鉢花を楽しんでください! 水やりのタイミングは、鉢の土に触れて確認。指に土がつかないときは乾いている証拠なので、たっぷり水をあげましょう!

直売所へ
行こう!花は新鮮な地場産を!
四季を彩るあつぎの花♪

主な
鉢花

※店舗や時期により取り扱いがない場合があります



プレゼントにおすすめのプリザーブドフラワーやシャボンフラワー、生産者が作る寄せ植えなども並びます!



JAあつぎの直売所ガイド

JA 直売所で地場農畜産物を買ひ、
国産産・地産地消を実践しましょう!



夢末市
厚木市温水255 ☎046-290-0141
営業時間 9時30分～17時
休 業 日 毎月第3水曜日(3月・9月は第2水曜日) 1月・8月・12月は除く および1月1日～4日



グリーンセンター
厚木市及川1161-1 ☎046-241-6150
営業時間 9時～17時 ※精米機は16時30分まで
休 業 日 毎月第2水曜日(1月・5月は除く) 12月31日～1月4日



Tomoni内「夢末市出張販売所」
厚木市泉町3-13(厚木駅前農協会館1階)
営業時間 10時30分～14時
休 業 日 土曜日・日曜日・祝日・夢末市休業日

©よい食P

キリトリせん

あつぎせせらぎ米 (4.5kg精米・5kg玄米)

特別割引券 1,950円→1,700円 (税込)

有効期間:令和6年2月23日～3月31日まで有効
※夢末市・グリーンセンター・Tomoni内「夢末市出張販売所」でご利用いただけます

※1会計につき本券1枚限り有効(コピー不可)
※「お米の日」や他の割引(サービス)との併用不可

券を使う方に質問です! あつぎせせらぎ米を購入している理由は?(複数回答可)

A. 味が好み B. 価格 C. 地場産 D. 食べ慣れている
E. 品種 F. 冷めてもいい G. その他()

あつぎの農業を育てて応援！

キャンペーン

あつぎの花で「花活」はなまるチャレンジ！

花のある生活を送ろう！



キャンペーンの詳しい内容や応募方法は、JAあつぎホームページをチェック！

キャンペーン開催中！ぜひご応募ください！

春は花活にピッタリの季節！皆さんがどのような方法でお花を楽しんでいるかを教えてください！

応募期間 2月20日(火)～4月15日(月)

応募内容 好きな花や花に関するエピソード、花見や春に合う料理のほか、本誌の中で特に印象に残ったことなどを教えてください。

直売所スタンプラリーも同時開催します♪新鮮な農畜産物を買いに直売所へ足を伸ばしてみてください！

今回のプレゼント



あつぎの寄せ植え 合計30名様
※イラストはイメージです

あつぎの農業を育てて応援！キャンペーン！

応募券

ハガキで応募の際は、こちらの応募券を貼り付けてください

〒243-0004 厚木市水引2-9-2
JAあつぎ総合企画部
あつぎの農業を育てて応援！キャンペーン係宛

応募方法と当選者数

10名様

スタンプラリー

直売所を巡ってスタンプを集め、店頭に応募箱に投函または郵送して応募！

10名様

Instagram

「#あつぎ花活チャレンジ」を付けて、好きな花、育てている花、花見や春に合う料理などの写真を投稿して応募！

5名様

応募フォーム

JAあつぎのホームページ内にある応募フォームから、簡単なアンケートに答え応募！

5名様

ハガキ

「JAあつぎコミュニティNo.46」または「グリーンアートあつぎ3月号」、「グリーンページ2月号」の応募券を貼って応募！

JAあつぎ直売所スタンプラリー

夢末市・グリーンセンター・Tomoni内「夢末市出張販売所」・管内巡回の移動販売車「ゆめみちゃん号」のうち2カ所を巡り、それぞれの店舗で備え付けの「ゆめみちゃんスタンプ」を押してご応募ください！



スタンプ欄



スタンプ欄

【応募方法】
スタンプを押した当台紙を切り取り、任意の封筒にて郵送していただくか、夢末市・グリーンセンター・Tomoni内「夢末市出張販売所」に設置されている応募箱に投函してください。

【注意事項】
備え付けのスタンプには、店舗名が入っています。必ず異なる2カ所のスタンプを押してご応募ください。
※移動販売車は、2カ所の巡回場所を訪れても、スタンプは1つとなります

【個人情報について】
個人情報は、抽選、賞品発送に利用させていただきます。

【郵送の際の応募先】
〒243-0004 厚木市水引2-9-2 JAあつぎ総合企画部
あつぎの農業を育てて応援！キャンペーン係宛
※郵送料についてはお客さまのご負担となりますのであらかじめご了承ください
※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます

応募用紙

氏名	年齢	
郵便番号	住所	
電話番号		

未来に伝えたい、厚木・清川の「農」と「食」

写真コンテスト 結果発表

「未来に伝えたい、厚木・清川の『農』と『食』」をテーマに募集を行った写真コンテストには、多くのご応募をいただきありがとうございました！JAあつぎホームページでは「昔の部」・「現代の部」・「Instagramの部」の受賞作品を、公式YouTube「ゆめみちゃんねる」では全応募作品をご紹介します。ぜひ、厚木・清川の景色の移り変わりや、その時代ごとの農と食の様子を感じてみてください。

昔の部 受賞作品



「祖母と糸繰り」



「自宅で家畜の牛とツーショット」



「昔の田植え」



◀各部門の受賞作品はホームページでご確認ください！



◀公式YouTube「ゆめみちゃんねる」では全応募作品を公開中！

お便りコーナー

テーマ 花き生産者に対する応援メッセージをお寄せください♪

投稿方法 ハガキまたはFAX、ホームページにて①～⑦の項目を記載しご投稿ください。

締め切り 4月1日(月) 必着

ハガキ 右記の通り

FAX 046-223-8814

HP <https://www.ja-atsugi.or.jp/form/greenpage/>



二次元コードを読み取るとホームページの投稿フォームが表示されます。

投稿者の中からプレゼント

投稿者の中から抽選で10名様に、夢末市等で使える商品券1,000円分をプレゼント。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は、抽選、賞品発送に利用するほか、個人を特定できない統計情報として、マーケティング等に利用させていただきます

切手 243-0004

厚木市水引2-9-2

JAあつぎ総合企画部
コミュニティ係宛

①テーマの回答
②郵便番号・住所
③氏名
④年齢
⑤電話番号
⑥このコミュニティ誌に関する感想や取り上げてほしい内容など
⑦JAに対するご意見・ご要望など

編集後記

今回は、切り花や鉢花などの地場産花きに着目し、管内における花き生産の歴史や四季を彩る花々について紹介しました。お祝いや記念、気持ちを伝える贈り物としてはもちろん、空間に色や明るさを添える存在として生活に欠かすことのできない花は、生産者の丁寧な管理と努力により美しく育っています。ぜひ地場産花きで「花活」に取り組み、地域の生産者を一緒に応援してください！また、「あつぎの農業を育てて応援！キャンペーン」では、好きな花や花に関するエピソードのほか、花見や春に合う料理も募集しています。皆さまからのご応募、心よりお待ちしております♪(松田)